

# 第33回 宝塚混声合唱団音楽会

# 天地創造

ハイドン

指揮

畑 儀文

独唱

ソプラノ

松原 みなみ

テノール

松原 友

バス

篠部 信宏

オーケストラ

アンサンブル・ムジカ・アニマ

2023年7月29日[土] プレトーク 13:45 (指揮者 畑 儀文)

開場 13:15 開演 14:00 終演 16:00頃 入場料 1,800円

豊中市立文化芸術センター 阪急宝塚線「曽根」駅より東へ徒歩約5分

お問い合わせ：宝塚混声合唱団 白神理平 090-1718-2029 <https://takarazukakonsei.com>

◆マスク着用はホールの方針をお守りください。また出演者との面会、花束・プレゼントはご辞退申し上げます。

◆後援：宝塚市・宝塚市文化財団・宝塚合唱連盟・兵庫県合唱連盟

# 「心が踊るハイドンの音楽」

私にとって、シューベルトは漢字一文字で表すと「優」、バッハは「整」、  
そしてハイドンは「活」。

モーツァルトを聴くと IQ (Intelligence Quotient・知能指数) が上がると言いますが、  
ハイドンを聴くと HQ が上がるのではないかと感じています。

HQとは Human Quotient・人間性指数のこと。

宝塚混声合唱団の天地創造の練習に来る時の気分と、練習を終えて帰る時の気分が違います。疲れるどころか、元気になっています。ハイドンの音楽が、脳の神経細胞に刺激を与えているに違いありません。

おそらくハイドン自身の HQ (人間性指数) が高かったと思います。

活力に満ち、社会性があり、理性的かつ独創的な生涯であったに違いありません。もちろん、ちゃんとした仕事に就くまでの悩み、宮廷楽長としての宮仕えの苦勞、妻との不和…等々、人並みの苦惱はあったでしょうが。

オラトリオ「天地創造」は還暦を過ぎたハイドンが 3 年もの年月をかけ、66 歳の時完成させました。今から 225 年前、1798 年のこと。シューベルトはまだ一歳の赤ちゃん。作曲のきっかけは、ヘンデルの「メサイア」を聴いて心が躍った、とか。

合唱団の練習から本番までのプロセスは、一つの世界遺産をゆっくり時間をかけて、隅々まで探訪しているようなもの。このプロセスはメンバーの脳神経細胞にとっては、最高の刺激(栄養)になっています。楽しく元気に過ごす為に、私達は歌います。そしてそのことが心が踊る社会につながる事を信じています。

畑 儀文

## ● 近年の演奏曲紹介 ●

指揮・合唱指導 畑 儀文  
オーケストラ アンサンブル・ムジカ・アニメ



第33回 2023年7月  
豊中文芸センター  
ハイドン  
「天地創造」



第32回 2022年8月  
いたみホール  
バッハ  
「クリスマス・オラトリオ」  
2020年、2021年  
—コロナで音楽会中止—



第31回 2019年7月  
いたみホール  
ヘンデル  
「メサイア」



第30回 2018年8月  
兵庫県 芸文センター  
ドヴォルザーク  
「レクイエム」



第29回 2017年8月  
いたみホール  
ブラームス  
「ドイツ・レクイエム」



第28回 2016年8月  
兵庫県 芸文センター  
ヴェルディ  
「レクイエム」



第27回 2015年7月  
いたみホール  
ベートヴェン  
「荘厳ミサ」



第26回 2014年8月  
西宮市民会館  
ハイドン  
「四季」

## ● 団員募集 ●

次回演奏曲:モーツァルト「レクイエム」  
演奏予定:2024年夏 第34回 宝塚混声合唱団 音楽会  
練習開始:2023年8月  
畑儀文先生の指導で世界の名曲をご一緒にうたいましょう  
入団・見学をご希望の方はこちらにご連絡をお願いします  
Tel. 090-3051-4440 (森美弥子)  
e-mail sg-my.m@axel.ocn.ne.jp

宝塚混声は、年齢制限なし、合唱経験不問。  
求められるのは、チャレンジ精神と自助努力です。  
オーケストラ伴奏で天下の名曲を歌う  
音楽力と運営力を持っています。  
テナー歌手としても高名な畑儀文先生の指揮で歌えます。  
おおらかでアット・ホームな雰囲気です。  
まずは練習風景を覗きにきてください。歓迎します!

練習日:毎週土曜日または日曜日、午後または夜間  
宝塚市公民館、西宮中央公民館、ほか  
月額費用:4,000 ~ 5,000 円、チケット負担なし

宝塚混声合唱団ホームページ  
<https://takarazukakonsei.com>

